



みんなの力でみんなの幸せ

s a w a r a b i

# さわらび

3

March  
2008  
vol.419

医学講話▶ 「地球温暖化と感染症—新興・輸入感染症」

福社村病院 院長 小橋 修

特 集▶ 障害者雇用の現状とさわらび会での取り組み



# 「地球温暖化と感染症 ——新興・輸入感染症」



福井村病院 院長  
小橋 修

地球温暖化問題の世界的な啓蒙活

動で、ノーベル平和賞を受賞したアル・ゴアのドキュメンタリー「不都合な真実」は衝撃をもって受け止められた。ゴアはアメリカ全土を光ケープルで結ぶ情報スーパーハイウェイ構想、一九九五年感染症のサーベイランスの世界ネットワーク、ナノテクノロジーが世界的に注目されるきっかけ等を作ったことでも知られている。

さて、東南アジアでは鳥インフルエンザ（H5N1）が猛威を振るい、ヒトに感染し、新型インフルエンザ

としてヒトからヒトへの感染のチャ

ンスを虎視眈々と狙っている。戦争やテロより怖い二十一世紀の脅威だとしてワクチンと薬の開発が急ピッチで進んでいる。出来るだけ感染を拡げないために、米国では、人前でくしゃみするときはチリ紙で鼻を覆って、手をしっかり洗うようにしなさい。そうしないと他人にうつす危険があるという「咳エチケット」を徹底して教育するなど、サブプライム危機以上に深刻に受け止められている。

これまで知られていなかった感染症  
(新興感染症)

(1)一九八一年のエイズ騒動。サンフランシスコの同性愛者に始まり、今では中国、インドなどにも爆発的に

拡がりつつある。異性間性行为や出産時の母子感染によって、アフリカでは一部族が消滅してしまったほどで、日本にも深く潜行し拡大しつつある。

(2)一九九二年、インド南部に始まりわずか半年余りで全土に拡がり、数十万人以上の患者を出した新型コレラO139は、南米アメリカに飛び火したあと、三年の間に南アメリカ全土に拡がった。

(3)一九九五年、コンゴ民主共和国で、当時世界を震撼させたエボラ出血熱、二〇〇二年から二〇〇五年の間に約五五〇〇匹のゴリラが死亡しており、住民はゴリラやサルなどの野生動物を食用とする習慣があったので、人に流行し、いまだ死者が出ている。

(4)二〇〇二年、中国広東省に死亡率の高いコロナウイルスによる新型肺炎サーズが発生し、二〇〇三年七月までに八千人強が感染し、七七五人が死亡した。感染者が飛行機でカナ

ダに入国したため、瞬く間に大流行した記憶はまだ新しい。次第に病原性が弱くなっていることは感染症の興味深い点である。



かつて騒がれたO157と現在騒がれているノロウイルス感染症胃腸炎  
(1)一九九六年、堺市で学校給食による集団感染を起こした病原性大腸菌の一種O157は患者八千名弱、死者三名を出したが、今なお日本中に蔓延している。

(2)毎年十月に流行が始まり、一、二月をピークとする下痢、嘔吐をもたらしノロウイルスは絶えず変異を繰り返して流行を繰り返している。一、二日で症状はなくなり回復するが、その後一週間くらいはウイルスを便から排出する。猛烈に強い伝染力を持ち家中に感染し、簡単に院内に拡がっ

てしまふ。嘔吐による窒息と脱水に  
 対する適切な処置さえすれば怖くな  
 い胃腸炎であるが社会的損失は大  
 きい。感染は必ず病院の外から持ち  
 込まれるので、持ち込まないことが  
 感染症の基本。

(3)熱帯、亜熱帯地域ではコレラ、  
 痢、病原大腸菌等による胃腸炎で  
 五歳未満の子供が毎年数百万人死  
 亡、地球の温暖化でこれらの感染  
 症が徐々に北上し日本にも迫って  
 いる。

**蚊が媒介する感染症と輸入感染症**

(1)一九九九年、ニューヨーク市で  
 突然カラスが大量に死んだ。蚊が  
 媒介するウエストナイル熱(脳  
 炎)で、六二人の患者と七人の死  
 者を出したが、その後も毎年流行  
 地域を米中部、南部にと拡大し、  
 二〇〇二年には中部から西部に拡  
 がり、四一五六人の患者と二八四  
 人の死者を出した。昨年も流行は  
 更に拡大し、届けられた患者数は  
 約九八〇〇人、死者は二六二人に  
 達した。二

〇三年末までの五年間で、全米の  
 患者数は一四一六三人、死者数は  
 五六四人。貨物とともに蚊が移動  
 するため、ただちに蚊の駆除の大  
 作戦が陸と空から始められたが、  
 蚊の生息地を閉じ込めることは出  
 来ず、三年以内にアメリカ合衆国  
 全土に拡がった。

(2)マラリアはマラリア原虫に感  
 染した蚊によって媒介され、世界  
 で最も感染者と死者の多い感染症。  
 地球の温暖化によってマラリア原  
 虫を持つ蚊が、輸送経路の海と陸  
 空からいつでも侵入できるので、  
 水際作戦ではとても防ぎきれない。  
 もっとも大きなインパクトは温暖  
 化で、エチオピアは温暖化につれ  
 急速に蚊が生息をはじめ、マラ  
 リアが発生し始めた。

(3)日本脳炎も蚊が媒介し、ワク  
 チンがあるので日本ではあまり問  
 題にならないが、東南アジアで  
 は大問題。温暖化で日本でも大流  
 行するに違いない。

(4)ヒト-蚊-ヒト、サル-蚊-サ  
 ルの模式で熱帯シマカが伝播する  
 デングウイルスも台湾まで北上し  
 ています。日本上陸目前。メス蚊  
 に刺されると、三、十日間の潜伏  
 期の後に、全身の不快感や倦怠感  
 から、突然の高熱、頭痛、全身の  
 筋肉痛がほぼ同時に出現。七日  
 ほどで解熱するが、発疹の多くは  
 発熱の後半期に出現。デング熱は  
 自然治癒傾向が強いが、再度刺  
 されると、生体が猛烈に反応し  
 て血小板減少による出血症状を伴  
 ったデング出血熱となり、致死率  
 は数%。流行地は東南アジア、中  
 南米など熱帯地域で、年間数百万  
 人の患者が出て数万人が死亡して  
 いる。熱帯地方は感染症の温床で、  
 地球の温暖化によって生態系が急  
 速に変わり、感染症も様変わりし  
 つつある。

かつて、南北アメリカの先住民  
 が西欧人と交流をはじめた途端、  
 麻疹が大流行し、免疫のなかった  
 土着民の半数近くが死亡し、また  
 天然痘患者の膿を塗った毛布を善  
 意と称してイ

ンディアンに配り、部族を半数  
 近く殺したヨーロッパ移民によ  
 るバイオテロ、それまで経験してい  
 なかった病原体がひとたび免疫の  
 ない土地に入り込むと、瞬時に流  
 行し、しかも死亡率が高いのが感  
 染症の大きな特徴。ペットの無  
 断輸入や、勝手に捨てる行為は、  
 地球の温暖化のなかでは大変危  
 険な行為。新型インフルエンザ  
 に対する備えも危機感も薄い。日  
 本は、眼に見えない危険にさらさ  
 れている。これまでどんなに怖い  
 感染症でも発病しなかった人や、  
 発病しても軽くすんだ人がいたこ  
 とは、感染症の重要な特徴で、人  
 類にとっての救いだ。新しい治療  
 法を見つけてること以上に、出来  
 るだけ感染症の根源を撲滅するこ  
 とと感染症にかからないように予  
 防することが大切である。



福祉村病院 長寿医学研究所 副所長

## 赤津 裕康

### 【共同研究紹介】

今回は大府にある国立長寿医療センター研究所 アルツハイマー研究部 部長 道川 誠先生との共同研究の一つをご紹介します。

道川先生はアルツハイマー病の脂質代謝領域での日本の第一人者です。

二〇〇六年よりお仕事を一緒にさせていただき、先生のお力で厚生科学研究費の分担研究者にも加えていただきました（これにより多大な公的研究費を分担研究費と言う形でいただいております）。

今回は脂質研究ではありませんが、昨年明らかになったアルツハイマー病の原因物質とされるアミロイド蛋

白の分解に関する仕事の紹介をさせていただきます。

アルツハイマー病の主要病変である老人斑を形成するアミロイド蛋白 (Aβ) は、アミノ酸が四十二個で出来たもの (Aβ1-42) が脳に溜まってくるとその形成が促進されると考えられています。このAβ1-42が分解できるとアルツハイマー病を予防できる可能性があります。道川先生と我々はその分解にアンギオテンシン変換酵素 (ACE) が関与する事を見出しました。

ACEは高血圧に関連するアンギオテンシンIを分解してアンギオテンシンIIを形成する酵素として世に知られ、ACE阻害薬は広く降圧薬として臨床応用されています。

このACEは脳内にも存在し、Aβ1-42をアミノ酸四十個のAβ1-40に分解する作用があることが解りました。実際にこのACEの酵素作用を抑えるACE阻害薬を飲ませたアルツハイマー病モデル動物にはAβ1-

42を多く含む老人斑が形成されました。この共同研究では、我々、福祉村ブレインバンクで保管させていただいているアルツハイマー病患者さんの病理解剖脳とアルツハイマー病でない方の脳とを比べ、ACEの遺伝子・蛋白量がアルツハイマー病の方で低下していることが解かりました。

この仕事は広く降圧薬として服用されているACE阻害薬の作用を問いただす可能性があるため、さらに慎重に仕事を進めていく必要がありますが、逆に脳内のACE活性を高めることでアルツハイマー病の治療や予防に繋がる可能性のある重要な仕事になっていくものと思っています。



● ACE阻害薬を飲んでいないアルツハイマーマウス



● ACE阻害薬を飲んだアルツハイマーマウス

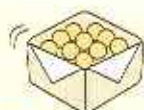
ACE阻害薬を飲んだマウスに茶色の染み(老人斑)がたくさん見えます。

## 福祉村保育園

### だんご

福祉村保育園では、季節の行事をもっと大切にしています。二月は、鬼の面をみながら作ったり豆をまいたり、節分の行事を楽しみました。

鬼は外!! 福は内!!



# インド福祉村病院 教育ホール落成式

「さわらび」読者の皆さん  
「カーナル・チャルバー」

日本の今頃は寒いでしょうね。こ  
インドには寒さもだいぶ和らいでき  
ました。寒い日で最低気温は七度ま  
で下がりましたが、今は十三度位で  
す。しかし、日中は暖かく二十度前  
後です。

皆さん「お元気ですか」。これを  
ヒンデイ語では「カーナル・チャル  
バー」と言います。そして、「元氣  
です」と言うのは「テイク・バー」  
と言います。寒い事を「タンダー」  
と言ひ、逆に暑いことを「ガルミイ」  
と言います。

現在、ここのインド福祉村病院を拠  
点にし、保健衛生事業を展開してい  
ます。その一端を紹介したいと思  
います。また、始まったばかりで多  
くのことを進めておりませんがよろ  
しくお願ひします。

## 妊婦指導

現在、コンピュータの指導で毎週二回、

病院において実施しています。いま  
までに約四十人程が参加しています。

延べにすればもつと多くなります。  
その内容は、食事指導、日常の注意、  
検診の必要性などです。村民の生活  
は苦しく、栄養摂取も悪く、検診も  
なかなか受けられません。又、女性  
は重要な働き手となっておりすが、

軽作業も困難です。早産も多く、こ  
の村ではありませんが先日、早産で  
九百グラムで生まれ死産しました。  
JICA資金で写真の母子手帳（四  
十頁余）を作成し、現在配布してい  
るところです。

又、妊婦体操のチラシ、画像指導  
を作成しましたので、今後これらも  
活用したいと考えています。この活  
動が村近辺まで広がり、活用できれ  
ばと考えています。



## 衛生指導

この活動はまだ十分ではありません  
んが、正月に日本人ボランティアが  
病院に來られ、子供達に「一手洗い」  
指導をして頂きました。ビデオを使  
い病院待合室にテレビを設置し患者  
さんたちに紹介しています。しかし、

公共電気は停電が多く、発電機を動  
かさないとテレビも写りません。通  
電の日に見られます。

その他、紙芝居がありますので今  
後これを活用する予定です。この紙  
芝居はヒンデイ語と日本語で書いて  
あるものです。又、結核予防のチラ  
シと画像紹介の作成が終わったとこ  
ろです。

## 教育ホール

JICA資金で以上の活動をする  
場として、教育ホールを建築しまし  
た。この二月十五日に完成したばか  
りです。JICAの佐々木さん、I

WVSの柴田理事、現地の統括医師  
を迎え、村民も約二百人参加の中で  
盛大に開かれました。

このホールを今後活用し、以上紹  
介した内容を一層進める決意です。  
皆様の今後とも一層の活動支援をお  
願ひし、報告させていただきます。

（現地責任者 加藤伸也）



●あいさつをする柴田理事とグプタ  
院長



●落成式に参加してく  
れた村民のみなさん

## あいち グループホーム スタッフ研修会 に参加して

月二十・二十一日、蒲郡市三谷温泉にて「あいちグループホームスタッフ研修会」が開催されました。さわらび会のグループホームスタッフ、あかね荘障害者生活支援センター職員も研修企画スタッフとして参加しました。

障害者自立支援法が施行され一年が過ぎ、職員にとっては、振り返ると法律に振り回された数年間でした。今回の研修では、もう一度原点に戻り、一より質の高いサービスを提供するには「本人を中心とした計画作りとは」に重点を置いた研修を企画しました。

「本人を中心としたケアプラン作り」においては、地域活動支援センター一なのはな一の利用者一名、田原市障害者生活支援センターのピアカウンセラー一名も参加し、日頃の生活、現在困っていること、将来の

夢等を話ってくれました。当事者の皆さんが参加することにより、思いに耳を傾け、寄り添った支援が出来ることを実感しました。

「来年度も当事者の皆さんと共に研修会を盛り上げていきたい」という参加者の皆さんの声で研修を終えることが出来ました。参加された当事者の声を紹介します。

(池田)

今回、グループホーム研修会に参加させてもらい、その中で皆さんが私たちのことについてたくさん意見を話し合ってくれました。今まで私たちの中で考えていなかったことや、新しい発見ができ、とても勉強になりました。

まだまだ私たちは仕事や生活面でもできないことがたくさんあります。少しでも成長していけたらいいと思います。夢に向かってこれからも頑張ります。



## 圏域 ネットワーク 作り

障 害福祉の分野では支援費制度以降福祉サービスの利用

に際しては契約制度となり、利用者が自由に福祉サービスを選び、組み立てが出来るようになりました。一人の利用者が複数の福祉サービスを利用する中、事業者側も対応が必要となります。そのキーワードがネットワークという事になります。

しかし障害者の福祉ニーズの幅は広く、市町村の枠を超えてサービスを利用される方も多く存在します。その為、現在では障害保健福祉圏域単位でのネットワーク作りが重要視されはじめています。

現在、豊橋市・田原市などの東三河南部圏域の一定の福祉ネットワークが出来上がり機能し始めています。しかし、ひとたび市町村を超えた連携と言うことを考えた時、この圏域ではまだまだ未熟な部分ばかりです。

隣の市町村の福祉サービスの状況をお互いがほとんど知らないという状況にあります。

この圏域の相談支援アドバイザーとしてこの垣根を越える試みとして東三河事務所健康福祉課に協力を頂いて「東三河南部障害保健福祉圏域相談支援事業所連絡会議」をこの一月に開催しました。

圏域の相談支援事業所が一同に集まり、初めて顔を合わせる方も多くとまどいもありましたが、お互いの事業所の情報を交換する中、自立支援協議会の問題、困難事例の問題等共通の話題について有意義な話し合いが行われました。

お互いの市町村の情報を交換する中、その良いところを取り入れ、自分の市町村に活かすという事がネットワークの基本でもあると思います。この会議は定例化してゆく予定であり、この会議の中から自然に必要なネットワークの形が見えてくる、そんなお手伝いを今後一杯がんばって行きたいと思っています。

(東三河南部圏域相談支援

アドバイザー 江川)

「勉強がしたい」  
通信教育で  
学んだ心理学

珠藻荘利用者  
加藤悦代

**珠** 藻荘で生活されている加藤さんは身体に重度の障害があり、声を出すこと、ページをめくることができません。そのため、携帯電話を利用して原稿を作っていました。八ヶ月に渡る心理学の講座を無事に終了されたので、ここに本人のコメントを紹介します。

八年前から、心理学に興味がありました。どうしたら、勉強ができるのかな。心理学の勉強のやり方がわかりませんでした。

二年前に、ある介護士さんが通信教育で心理学の勉強をやってみないかと言ってくれました。でも私は迷いました。続けられるのかと心の高藤があっただけ、手伝ってもどうしように頼んでやってみることに決めました。

なぜ、私が心理学の勉強をやりたい



●二人三脚でがんばりました。

かったかと言いますと、私は言葉が話せないから、自分の気持ちを相手に伝えるのが難しいからです。言葉は人を喜ばせたり、励ましたり、その逆もあります。怒らせたり、悲しんだりです。それから、人と話をしている時、相手がどういうことを言っているかわかるようになり、心理学で学んだことを役立てていきたいなと思っています。

まちづくり  
出前講座

**ま**

ちづくり出前講座」とは市民のみなさまのご注文に応じ、市役所の仕事やまちづくりのことなどのお話を、自治会や子供会などで実施する会合やイベント、学校の授業などに、その名の通り市職員が出向いて、講座を開くものです。市役所の各課から提示されたメニューから市民が選んで参加するというスタイルで、メニューも豊富にあります。市政・健康・保健・環境・産業・防災等のそれぞれの情報を伝える内容となります。

今回は豊橋市からの依頼を受け、豊橋市立つじヶ丘小学校の三年生に「障害者への理解」をテーマに、私自身の今までの経験や珠藻荘の利用者の生活を伝えてきました。対象者が三年生なので簡単に分かりやすく話すことを心がけました。つつじヶ丘小学校は福祉についての勉強をさ

れているようで、その為か私に対する視線もとても真剣で、最後までしっかりと話を聞いてくれていたことがとても嬉しく感じました。また、最後に生徒からの質問に答えたのが素朴な質問が多く、障害者への理解の第一歩になったのではないかと思います。

小学生の頃から障害を持つ人と接することは大切ですし、小学生という小さい子供達だからこそ、素直に障害者を受け入れることが出来るのではないかと感じられた「出前講座」でした。

今後も子供達に「障害があってもしっかりと生きていく」「みんなと何も変わらない」ということを伝えてゆきたいと思っています。(田中)





# 障害者雇用の現状と さわらび会での取り組み

## 福

社村には、障害を持つ方が大勢おみえになります。同時に、福祉村は障害を持つ方の働く場ともなっており、その働く姿を目にすることもあるかと思えます。障害を持っている人も健常者と同様に、就労を通して社会参加したいと考えている方は大勢いらっしゃいます。

私たちさわらび会は、障害者の方への就労支援を積極的に行っています。そこで今回は、障害者就労の現状を踏まえて、働くということについていろいろと考えてみたいと思います。

### 障害者雇用の現状

障害者の雇用状況は依然として厳しくなっています。事業主側には「障害」への理解が薄く、どう対処したらよいか分からないと言う意見があるようです。よって障害者にとっては、働きたくても働けない状態が続いていると言えます。そのような障

害者雇用の状況に対処すべく、「障害者雇用促進法」が制定されています。

この法律は、身体障害者又は知的障害者の特性に応じ、その能力に適合する職業に就くことができるよう、雇用環境を整備するように定められています。障害者の雇用については、事業主の法的義務とされています。

また、この法律において、事業主の法的義務の範囲を具体的にあらわすものが法定雇用率であり、「常用雇用労働者数」が五十六人以上の一般事業主は、その「常用雇用労働者数」の一・八%以上の身体障害者又は知的障害者を雇用しなければなりません。

平成十八年四月の法改正によって、精神障害者も法定雇用率加算の対象となり、平成十九年六月現在、一般企業における実雇用率は一・五五%（厚生労働省調べ）と、基準にはまだ達していないのが現状です。

## さわらび会の障害者雇用

さわらび会は、障害者雇用を積極的に進めています。具体的には、クリーニング工場や、各施設の事務員、また清掃員として三十名近くの方が就労されています。実際にさわらび会で就労している当事者の声を紹介します。

### 働くことの意義

珠藻荘 副施設長 田中力

私は現在、さわらび会の珠藻荘で仕事をさせていただいています。仕事をすることで責任感やプライドが回復されました。また、仕事を継続するために自分自身でも生活をしつかりと見つめ、健康管理や金銭、安全といったことに注意するようになりました。

「働くこと」はどんな人達にとってもとても大切なことで、ましてや、障害者の方々にとっては「働くこと」の意義はとてつもないと思います。





●あかね荘 事務員 塩野谷さん

働くことは、収入を得る喜びだけでなく、障害がある自分でも能力を発揮できる、それを評価してもらえ、という満足感・充実感を得られます。障害者が働くためには様々な支援が必要な場合もあります。通勤手段やトイレ等の環境面、そして何よりも障害への理解がなければ本人がどれだけ努力をしても労働の継続が出来ません。

## クリーニングセンターで働く息子 〜母親の思い〜

さわらび会では多くの障害者を雇用しています。これは福祉村といった環境も大きく雇用につながっていると思いますが、障害者が働くことの意義や障害者を専門的に理解しているからだと思っています。

児童施設から成人施設への移行を考えなければならなかった時、あかね荘グループホームへの入居が決まりました。息子は自閉症で「こだわり」があり、コミュニケーションがうまくとれません。この子は一生「就職」することは難しいだろうと思いついてきました。



●クリーニングセンターでの就労風景

しかし、入居後、クリーニングセンターという「働く場所」も与えていただきました。息子のクリーニングセンターでの仕事は、オムツをたたんだり、洗濯をすることです。働き始めた頃は「こだわり」も強く皆さんに迷惑ばかりかけ、何度頭を下げたことや。しかし、クリーニングセンターの職員の皆さんは、時間をかけ「こだわり」を上手に仕事にいかせるようにまでしてただけでした。ほんとうにありがたく思っています。今では仕事がとても楽しんでいます。「あなたの仕事はなんですか」と尋ねると「オムツポンポン ippines きます」と元気よく答えてくれます。息子を通じて働くことの大切さを教えられた気がします。

福社村という重度の障害者にとつての環境面の良さ、そして職員のみなさんの受け入れ体制が、息子をここまで育ててくれたことと感謝の気持ちでいっぱいです。

## さわらび会の就労支援

また、さわらび会では、地域の

一般企業への就労を目指した就労支援も行っています。障害を持つ方は、自分で就職活動をしていくことが難しいこともあり、「就労支援」という視点が極めて重要で、障害者の雇用の場の確保とあわせて、これまで以上のきめ細かな就職活動のサポートや、就労後のフォローなどの支援が必要であるといえます。

明日香で行った支援の一例ですが、三年前に就職したAさんが、ストレスなどが原因で仕事を休みがちになっていました。

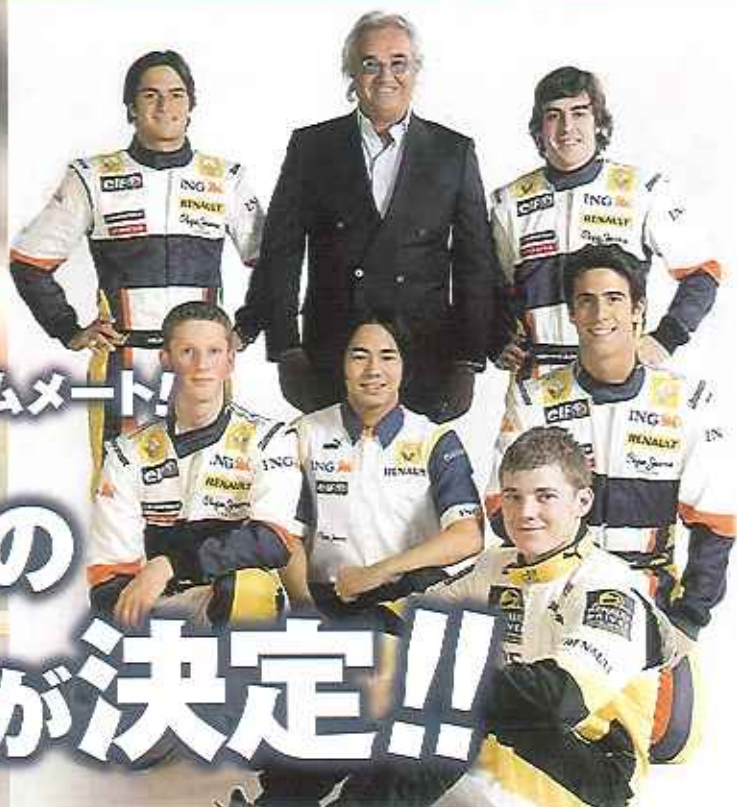
そこで、本人から話を聞いたたりアドバイスすることで、Aさんはまた元気に通い始めることが出来るようになりました。

支援する私たちは、何人を就職させたかということにとらわれ過ぎず、就職を通して障害者の幸せを含めて支援していくことが大切だと考えています。

(編集スタッフ)

最高のチーム! 最高のチームメイト!

# 左近選手の ルノー入りが決定!!



## 左近選手

ルノーF1チーム加入発表  
日本列島を熱く駆け巡る

ルノーF1チーム(ING Renault F1 Team)に、山本左近選手がテストドライバーメントドレイバーとして加入することが2008年2月に発表され、近年稀に見る寒波が吹き荒れる日本各地を熱く駆け巡った。05年、06年とルノーF1チームでワールドチャンピオンに輝いたフェルナンド・アロンソ選手も再加入し、今期は本気でワールドチャンピオンを目指せるチームとなった。

## 左近選手の積み重ねた豊富な経験と実績

左近選手のこれまでの豊富な経験と実績はF1関係者の間でも高い評価を得ており、遂にF1界のトップチームをも動かした。

ルノーF1チームのプリアート代表は一積極的な開発プログラムを行う為、左近選手のF1での経験はとて役立つ

「チームにとって貴重な財産」と左近選手に最大級の評価を表している。

今期の左近選手はワールドチャンピオンになる為のマシン開発という極めて重要な任務に就くこととなった。さらなる高みを目指す飛躍の年となることは間違いない。

## 左近選手のこれまでの活躍

左近選手のこれまでの軌跡にはいつも驚きと感動があった。1994年、鈴鹿カートレーシングスクールに入校、華々しいレ・サー・人生の出発点となった。

スクール入学後めきめき頭角を現し、カート地方選手権、全日本選手権でチャンピオンに輝く。

2001年、全日本F3選手権に参戦、安定した走りでの高い評価を各レース関係者から受ける。

2002年、ドイツF3選手権に参戦。幼い頃からの夢である「F1ドライバー」を

常に意識し、舞台を海外に移してもさらなる挑戦を続けた。2003年、F3ユーロシリーズに参戦。世界にその名を響かせた。

2004年、再び母国日本で全日本F3選手権に参戦し、ヨーロッパで鍛えた腕前を存分に披露した。



■ルノー公式ホームページ

<http://www.ing-renaultf1.com>

2005年、日本レースの最高峰、フォーミュラ・ニッポンとスーパー・GTの両方に参戦。日本レース界を代表するトップドライバーへと駆け上がった。

### 夢のF1ドライバーへ

そして2005年10月、遂に念願の夢であった「F1レーサー」となる。

夢のステージはF1日本グランプリ。ジョーダン・トヨタからサードドライバーとしてF1デビューを果たす。レギュラードライバーより速いタイムを叩き出し、新聞でも日本の超新星として紹介された。

2006年、フォーミュラ・ニッポンとスーパー・GTに参戦していたが、シーズン途中から再びF1の舞台に戻る。スーパーアグリF1チームからレギュラードライバーとしてF1参戦。

ハンガリー・トルコ・イタリア・ベルギー・日本・中国・ブラジルと世界各地を転戦。

中でも特筆すべきは最終戦ブラジルGPで、第二計測区間でのM・シューマッハに次ぐ2番手のタイムを叩き出し、チーム関係者やレース関係者を驚愕させ、来年度以降のさらなる活躍を期待させてシーズンを終了した。

2007年、GP2にてヨーロッパで活躍し、シーズン途中よりスパイカーF1チームからレギュラードライバーとしてF1参戦となった。スパイカーF1チームの低迷する成績を挽回する為、左近選手は日本GPを始めとする数々のレースでマシンのパフォーマンスを最大限に引き出し、大活躍の内にシーズンを終了した。

そして2008年、遂にF1トップチームのルノーF1チームに移籍し、ワールドチャンピオンになる為の重要な戦力となった。

これまで確実にステップアップしてきた左近選手。今年の活躍に期待が膨らむ。

1994



鈴鹿カートのスクールに入校。1999年にはJFA全日本カート競技選手権FAクラスシリーズチャンピオン獲得。

2001



全日本F3選手権トムスより参戦。日本人最高位のシリーズ4位、新人賞獲得。

2002



ドイツF3選手権参戦。2003にはF3ユーロシリーズ参戦。

2006



スーパーアグリF1チームからレギュラードライバーとして参戦。

2007



BCNコンベティションからGP2参戦。スパイカーF1チームからF1参戦。

2004



全日本F3選手権参戦。最終戦にて優勝。

2005



スーパーGT500参戦。第4戦優勝。



全日本選手権フォーミュラ・ニッポン参戦。第8戦2位。



ジョーダンのグランプリ・チームから日本GPでF1デビュー。

俳句 浪 漫

直筆の書で  
季節を彩る

ジュゲム館長・東京大学客員研究員  
金井 芳之



立春の前日、即ち一月二日を節分と称することに変わりない。この日の夕暮れ時、核の枝に燗の頭を刺し、戸口に立てて、「鬼は外、福は内」と大声を出しながら、炒った大豆を力強く撒く風習が三河からあつた。千歳郎の成田市にある新勝寺の豆撒きはとりわけ有名で、知名度の高い年男や東西の大きな権禰が小さな豆を撒く姿はなんとも滑稽であった。情けないことに、今年には日本人の横暴が誕生しないものだから、三ノ郎出身の東西権禰が撒いて豆撒きをやった。一般家庭でもマンション住まいや、核家庭化しているため、節分の風習が薄れ、威勢の良い豆撒きの声も聴かれなくなつて来ている。各家庭で手懸に出来る伝統行事が年々薄れて行くのは、なんとも作じていることである。



節分の  
量が遠く  
たりたり

芳之

さわらび日記

2016年2月16日

福祉対病院・ジュゲム

16日 名古屋福祉対病院主催の認知症予防教室にて生駒弘之副院長が「認知症の予防」について講演

20日 ジュゲム調査

22日 閉会式交歓会

23日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

25日 中野市福祉対病院主催の認知症予防教室にて生駒弘之副院長が「認知症の予防」について講演

31日 横濱先生によるOPC（理事長）

2月1日 早稲浦委員会（理事長）

2月3日 尾張市福祉対病院主催の認知症予防教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

5日 大府市の大学健康委員会（理事長）

11日 大府市福祉対病院主催の認知症予防教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

12日 ジュゲム調査

14日 名古屋福祉対病院主催の認知症予防教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

16日 病後ケア委員会（理事長）

16日 豊田福祉対病院主催の認知症予防教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

18日 豊田福祉対病院主催の認知症予防教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

20日 全国老健福祉対病院主催の認知症予防教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

22日 愛知県老健福祉対病院主催の認知症予防教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

23日 愛知県老健福祉対病院主催の認知症予防教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

23日 愛知県老健福祉対病院主催の認知症予防教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

23日 愛知県老健福祉対病院主催の認知症予防教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

23日 愛知県老健福祉対病院主催の認知症予防教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

25日 愛知県老健福祉対病院主催の認知症予防教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

28日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

30日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

2月4日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

6日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

7日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

13日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

14日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

15日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

18日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

22日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

23日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

23日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

23日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

23日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

23日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

23日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

23日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

23日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

23日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

23日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

23日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

23日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

23日 豊橋市社会福祉協議会主催の介護者教室にて生駒弘之副院長が「認知症の介護」について講演

# さわらび大学公開講座案内

☆参加費無料で  
どなたでも受講できます

4月よりさわらび大学を再開いたします。多くのお越しをお待ちしております。

## ●4月10日(木) 看護の基礎「高齢者の看護」

講師 ▶ 福祉村病院 総看護師長 山本 淑子

## ●4月24日(木) 介護の基礎「障害者の介護」

講師 ▶ 障害者支援施設 珠藻荘 介護士長 小原 正敏

## ●5月 8日(木) ベッドサイドのリハビリ

講師 ▶ 福祉村病院 リハビリテーション部長 理学療法士  
榊原 利夫

## ●5月22日(木) 心のカウンセリング

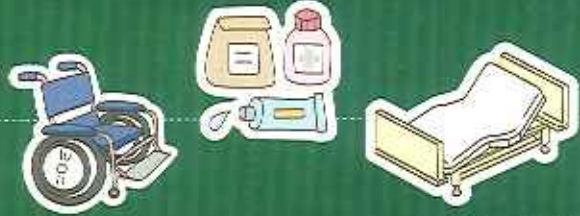
講師 ▶ 福祉村病院院長寿医学研究所 所長 堀 映

## ●6月12日(木) 急変時の処置

講師 ▶ 福祉村病院 看護部教育委員 看護主任 村井 孝枝

## ●6月26日(木) 感染症予防について

講師 ▶ 福祉村病院 院長 小橋 修



### さわらび大学の開催

時間◎第2-4木曜日、午後3時~4時

会場◎福祉村病院会議室

尚、都合により日程及び講座が変更となることもございますのでご了承ください。

### ◎お問い合わせ・受講申し込み

軽費老人ホーム若菜荘

☎ (0532)48-1138 ㊟ (0532)48-2365

15日 愛知県高齢者福祉研究会(金森 孝三郎)  
17日 愛知県福祉社入村センター 事務室(山本 昭彦)

22日 理容福祉(浅倉 幸仁)  
23日 主任会議  
24日 指導協議会  
25日 保健所審査

#### ■講演会

1月16日 東三河病期短期相談支援事業所連絡会(池田 昭彦)  
17日 自営企業家協会

#### ■明日会

1月16日 東三河病期短期相談支援事業所連絡会(池田 昭彦)  
17日 介護支援専門員研修(鈴木 孝三郎)  
22日 ナービス管理費(池田 昭彦)

#### 18日

#### 23日

#### 30日

#### 2月1日

#### 2日

#### 7日

#### 13日

#### 1月16日

#### 18日

#### 22日

#### 24日

#### 29日

#### 30日

#### 1月22日

#### 23日

#### 26日

#### 26日

#### 2月1日

#### 3日

#### 4日

#### 7日

#### 8日

#### 13日

#### 2月1日

#### 2月1日

#### 22日

#### 25日

#### 2月1日

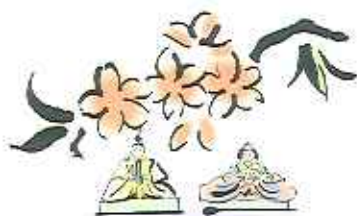
#### 2月1日

#### 2月1日

#### 2月1日

#### 2月1日

#### 2月1日





福祉村病院 副院長  
伊弉弘之

耳、鼻、口など)の病に  
霊験があるといわれ信仰  
を集めている。一弘法大  
師は彫刻刀を忘れても大  
丈夫だね。うらやましい  
よう。」と小三の娘。

第二十七番神峯寺から第二十八番  
法界山大日寺まで安芸市から南国市  
に向かって土佐くろしお鉄道沿いの  
海岸線を北上すること四十キロ。徒  
歩で十時間、自動車でも一時間以  
上かかる。道中、土佐の国の三月  
二十二日は暖かい。



大日寺は町外れの三宝山西麓の丘  
陵にある。本尊は大日如来。弘法大  
師が訪れたとき、楠の大木に爪で薬  
師如来を刻み、奥の院に安置した。  
この「爪彫り薬師」は首から上(目、



門をくぐると静かで落ち着いたた  
たずまいである。けばけばした色彩  
はなく閑静な空間が広がる。正面に  
本堂、右手に大師堂、左手にはたく  
さんの石仏、そして本堂の前の庭に  
しだれ桜が咲いていた。「きれいな  
桜だね。でも、もう桜が咲くの、お  
かしいよ、早すぎるよ。」と中一の娘。  
「今年は二回桜を見させてもらえる。  
ありがたいね。」と母。土佐の国に  
は尾張の国よりひと足早く桜前線が  
上陸していた。

## 認知症介護の

Vol. 1



### ワンポイントアドバイス

#### 人形療法

#### 認

知症の方は個人差はありま  
すが表情が乏しく口数が少  
なくなる方が沢山みえるようです。

そのような認知症の方のケアの方法  
論のひとつとして、今回人形療法に  
ついて取り上げてみたいと思います。

人形を抱いた時に、赤ちゃんを腕  
に抱いていた幸せな感情を蘇らせて  
くれると同時に、親として子を守り  
育ててきた記憶につながり、認知症  
の進行とともに失われてきた自信や  
役割を取り戻すきっかけになること  
を期待して行うものです。

認知症は記憶障害を伴うこ  
とが多いですが、「感觸」や「感  
情」という原初的な感覚は忘  
れずに残っている場合が多い  
のです。従って人形は出来る  
限り本物の赤ちゃんそっくり  
の感觸を持つものを導入する  
のがポイントになります。現

在は良い人形が店頭に並んでいます。  
第二さわらび荘でも人形療法を導  
入してみました。

本当に赤ちゃんをお世話するよう  
に話しかけ抱っこしたり、ご飯を食  
べさせようとしたりと日頃落ち着か  
ない方でも椅子に座っていることが  
出来たり、話しかけることで発語が  
増えるなど優しく接していただけま  
した。女性の方だけでなく男性の方  
にも好評で「子は鎧」を実感致しまし  
た。このように人形と接することで  
「お世話をしたい」という意欲や役  
割づくりを引き出すきっかけとなり、  
コミュニケーション機会の充実にな  
るようです。皆さんも如何でしょう  
か。  
(長坂)



## さわらび会後援会 寄附ご芳名

H20・15・2・14

- 市内牧野町九〇 五十万円
- 小松ウメ氏
- 新城市南畑七四 五十万円
- 光田屋泰
- 市内東雲町四七 五十万円
- 梅村敏夫氏 五十万円
- 市内大清水町字富士丸八〇四一 五十万円
- 柳松谷建設
- 市内小池町三六一一 五十万円
- 共和印刷機
- 市内高塚町神田六八 五十万円
- 田京敏明氏
- 市内植田町中屋敷九 五十万円
- 石田 武氏
- 市内中岩田三丁目一一一三 五十万円
- 白井良治氏
- 市内弥生町西豊和九 五十万円
- 林 昭氏
- 市内菅町三〇 五十万円
- 市内野新松商店
- 市内瓜郷町前川五〇 五十万円
- 鈴木弘生氏
- 市内東新町三二四 五十万円
- 関日医工新和
- 市内間屋町一五二五 五十万円
- 柳スズケン
- 市内東田町一五四 五十万円
- 筑竹田商店
- 市内飯村北二丁目二六 五十万円
- 伯滝川器城店
- 市内東臨三丁目一一一七 五十万円
- 森田由利子氏
- 市内白河町一〇〇 五十万円
- 中部ガス株
- 市内神野野塚町二 五十万円
- 神野窪海泰
- 市内野袋町山中一九一四 五十万円
- 福祉村病院職員有志
- 匿名希望氏 四十万円
- 匿名希望氏 五十万円
- 匿名希望氏 五十万円

その他匿名希望多数の方より  
ご寄附頂きました。  
計 式拾貳萬六千円  
現在までにご寄附いただきました金額は  
八億零千九百六拾伍圓  
式千四百拾拾圓

## インド福祉村協会 寄附ご芳名

H20・15・2・14

- 名古屋市中区新栄一 七一一二
- 東海労働会館 八千九百円
- 静岡県浜松市東区有台四丁目一六八 八
- 田中美羽氏 参千円
- 三重県津市久居二ノ町一八三三二五 五
- 鈴木美佐氏 参千円
- 静岡県浜松市東区周東町一四八七一五 五
- 松下正男氏 参千円
- 静岡県浜松市三方原町一七二二二 二
- 袴田トミ子氏 参千円
- 静岡県浜松市中区高尾北一六五一三三 三
- 今泉すみ子氏 参千円
- 名古屋市中区砂田橋一 一八〇三三 三
- 清水 潔氏 伍千円
- 丹波郡扶桑町高津扶桑台三二四 四
- 山田典子氏 参千円
- 名古屋市中区昭和区山花町五〇 〇
- 医療法人 生寿会
- 理事長 酒井宏氏
- 名古屋市中村区竹橋町三五二一八 八
- 増子和郎氏 伍千円
- 名古屋市中区高柳町九〇二 二
- 清田佳男氏 六千円
- 三重県桑名市筒尾九一五七一七 七
- 佐藤富美子氏 伍千円
- 兵庫県神戸市東灘区淡瀬町一 一四一 一
- 西川宗明氏 壹千円
- 岡崎市護生町六三二一 一
- 大野正義氏 壹萬円
- 岡崎市滝町字外浦三七六 六
- 鈴木昌子氏 伍千円

- 岐阜県岐阜市加納榮通五 四〇 四
  - 伴 正敏氏 伍千円
  - 名古屋市中区東区危の井一七二二一 一
  - 村田謙治氏 式千円
  - 名古屋市中区瑞穂区軍太町二 二二二 二
  - 森 紹一氏 式千円
- 計 式拾貳萬貳千九百円

### 募金方法(インド福祉村)

振込先  
郵便振替・郵便振込 口座番号  
〇〇八三〇二一六五〇〇八  
インド福祉村協会  
連絡先 監事 老人ホーム若菜荘  
☎〇五三二二 四八一一三三三まで

### お礼コーナー

ありがとうございました

※印は豊橋善意銀行を通して  
▼オーエスジー様  
バスケットボールリーグチケット※  
(明三書)



●雪の福祉村  
(2008.2.9撮影：小橋 修)



輸入大国日本の食料自給率は今や三九%で先進国ではとても低い国である。「先進国?」。いや、もはや食料後進国かも。

「食食同源」は発想元の「薬食同源」を日本でアレンジされ広まったとされているが、その本家本元の「食」である農水産物に、昭和三〇〜四〇年代の日本における「公害」という水質、大気、土壌などの汚染による悪夢が思い起こされ不安が募る。

輸入大国日本の食料自給率は今や三九%で先進国ではとても低い国である。「先進国?」。いや、もはや食料後進国かも。

今回は、障害者支援施設 珠藻荘事務員 黒柳晴彦さんです。

一方、中米のコスタリカは六〇年前に軍隊を廃止し、その予算を全て福祉と教育に充て、その結果内戦のない自然環境が豊かで、国民に笑顔の絶えない奇跡の国となった。

今回の「食」の不正、不安を機にそろそろ諸工業や建設、防衛などに有利な政策を見直し、「医」に直結する「食」、即ち第一次産業や福祉、教育の方向にもう少しバランスよくシフトしてもらえないものだろうか。中米の楽園、コスタリカのように。

単純明快！行きつくところ、人は車やパソコンはなくても生きられる。だが食料がなくては生きられないのだから。



# 春の訪れ



有難う  
立った  
歩いた  
空は青

骨折で入院した時、自力歩行はむずかしいと医師から言われたが、立って歩くことが出来たことの喜びを表しました。

俳句・春川 ヨシさん(軽費老人ホーム若菜荘)

みんなの力でみんなの幸せ

2008年3月1日発行 早蔵 第419号

(昭和32年2月21日第三種郵便物認可)

充実した医療と福祉

- 特別養護老人ホーム さわらび荘 ☎(0532)54-3501
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘 ☎(0532)48-1138
- ケアハウス カサ デ ローザ ☎(0532)37-1209
- 軽費老人ホーム 若菜荘 ☎(0532)48-1138
- 障害者支援施設 珠藻荘 ☎(0532)47-1050
- 知的障害者更生施設 あかね荘 ☎(0532)48-2825
- 福祉村病院 ☎(0532)46-7511
- 知的障害者授産施設 明日香 ☎(0532)46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね ☎(0532)48-1032
- 福祉コンビニ(東表町) ☎(0532)69-5666
- 第二福祉コンビニ弥生 ☎(0532)38-9090
- さわらび会障害者居宅介護事業所 田原 ☎(0531)24-0722
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム ☎(0532)46-7501
- 田原市障害者生活支援センター(市営記) ☎(0531)45-3828



さわらび会

編集責任者: 武田和敏 E1刊: 共和E1別紙 定価: 100円

■表紙裏表紙写真: 春の暁美半島

## 編集後記

二十歳以上ではなく、十八歳以上の国民に与えるとした国民投票の投票権をうけてか、現在二十歳となっている成人年齢を十八歳に引き下げることが検討されているようだ。成人年齢の引き下げには賛否両論あるようだが、日本では江戸時代、大人と認められる元服は数えて十五歳。成人年齢が満二十歳となったのは一八七六年、明治政府が出した「太政官布告」からである。こんなにも長く成人年齢が変わっていないことも意外ではあったが、はたして江戸時代の十五歳と今の二十歳ではどちらが大人と呼ぶにふさわしいだろうか。いざいざにしても法制審議会は約一年がかりで結論を出すようである。

(武田)